

開一小だより



第374号

平成30年1月9日発行

練馬区立開進第一小学校

校長 石神 徹

“ともに生きる”の手だてとは

校長 石神 徹

“アイ アム バームクーヘンボーイ/バームクーヘン ヒア ユアー” “サンキュー” “ウィー アー グッド フレンズ”

二学期末、6年生は外国語活動にて、昔話「ももたろう」を基にして、登場人物やきびだんごに代えて渡すもの・行き先を決め、少人数で小さなゆかいな英語劇を披露しました。ここでは、英会話文以上に、目の力や笑顔などの表情、大きな身振り手振り、相手を受け止める心遣いなどが大事なようです。劇を見合っ、展開のおもしろさと伝え方の二点を軸にして、振り返りを行っていました。参観していた私は、少人数の中で相手を受け止め、協力して学ぶことの重要性を再認識しました。

開校130周年を迎えた平成24年度から本校の教育目標は“ともに生きる”。交流能力を培う6年生の外国語活動などは手だての一つとなります。

さらには、この手だてとして、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育が挙げられます。身の回りのユニバーサルデザインの例として、自動ドアやスロープ・階段併設の歩道橋、絵文字表示、識別の突起、低い床のバス、駅階段の高低二本の手すりなどがあり、至る所で見られるようになってきました。前述の教育とは、「年齢や性別、国籍、身体的な能力、障害の有無にかかわらず、すべての人にとって分かりやすい」という視点を学校教育の中に取り入れ、「すべての子どもにとって参加しやすい学校・学級」をつくり、「すべての子どもにとって分かりやすい授業」を行うことです。

本校の具体として、次の例があります。第一に適切な行動理解の促進を図るための約束や手順の精選明示・一人一役などの役割の明確化と鍵盤ハーモニカ演奏の手の形を習得するために手の甲に消しゴムを置く、鉛筆持ち方キャップ使用など分かりやすい代替動作の明示です。第二に刺激量の調整として、前面黒板周辺の整理や消音対応、パテーションの活用です。第三に見通しをもてるようにするための時間経過の明示です。第四に情報把握の強化のためのICT機器・提示物を活用した視覚訴求です。第五に思考の集中を図るためのめあて・課題の焦点化とその回答となるまとめの自力獲得です。加えて、ペアやトリオの学び合いを設定して、お互いのよさを認めあえるように努めています。これについては、学校ホームページにて算数授業の様子を逐次紹介してきました。

しかしながら、最も大切なものがまだあります。それは「心のユニバーサルデザイン」です。いくら優れた環境や施設が増えても、私たち自身の心が多様な人々に向き合えなくてはよりよい学校に、社会になりません。老いた人、体が不自由な人、貧しい人、困り感をもつ人など弱い人に寄り添い、自らもその立場になり得ることを自覚し、行動する心遣いこそ育まなければなりません。ここにおうちの人の出番があり、お願いです。親・祖父母・兄弟・親戚など多様な人がつながる家族には、様々な年齢があり、様々な土地に住み、広い考え方をもっていることでしょうか。家族だって、多彩な個性・特性をもっていると思います。この触れ合いなどを通して、“みんなちがってみんないい”のように、自分と違う人を避けるのではなく、ともに手を携えて生きる心の灯を培っていただきたいのです。困っている人に対して、上から目線の「大丈夫ですか？」からさりげない「手伝えることはありますか？」とするだけでも、相手の感じ方は変わってくるでしょう。家庭は心を育む安全地帯。学校のユニバーサルデザインに基づく教育を支えるものです。

バームクーヘンボーイは、お供にグレープバームクーヘンとバナナハヤシライス、メロンハヤシライスを連れます。“ウィー アー ストロング エン ヤミイ”まさしく、強く、おいしい登場人物ですが、私の目には互いに助け合うやさしい子どものまなざしが映りました。勸善懲悪を越え、ともに手を携える終幕です。“レッツ ゴー ツゥー ザ バームクーヘン ファクトリー”

1月の生活目標

《心をこめてあいさつをしよう。》

生活指導主任 久保 淳太郎

新しい年がスタートしました。子供たちは一人一人また新たな決意と新たな気持ちで一年のスタートを切ったことと思います。その思いはきっと周りの方への挨拶にも表れているのではないのでしょうか。元気な「おはようございます!」「ありがとうございます!」などの挨拶にはその思いが自然と表情や動作にも表れます。子供たちには、いつもお世話になっている方々、クラス、学校の仲間、そして大好きな家族の方々に、様々な思いをこめて挨拶をし、心を通わせて、最高の一年にしてほしいと願っています。保護者、地域の方々からも子供たちに負けないような元気な挨拶をよろしく願います。

1月の行事予定

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 9日(火) | 始業式 午前授業 |
| 10日(水) | 安全指導 給食始 計測(5・6年) |
| 11日(木) | 計測(3・4年) |
| 12日(金) | 計測(1・2年) 委員会 |
| 13日(土) | 体育朝会 土曜授業日 月曜時間割
校内書き初め展始 |
| 15日(月) | 全校朝会 クラブ |
| 17日(水) | たてわり班 |
| 18日(木) | 避難訓練 代表委挨拶運動 |
| 19日(金) | 食育クイズ |
| 22日(月) | 全校朝会 クラブ
クラブ見学(3年) |
| 24日(水) | 校内研究会のため午前授業
(1-3は5時間授業) |
| 25日(木) | スペシャル集会 |
| 26日(金) | 校内書き初め展終 特別時程
研究発表会参観のため午前授業 |
| 29日(月) | 全校朝会 委員会
もりもりウィーク(持久走)始 |
| 30日(火) | 社会科見学(4年) |
| 31日(水) | 音楽朝会 ふれあい給食会 |

書き初め展

書写部 柳澤 綾

昔から正月二日は仕事始めの日とされてきました。新しい年を迎え、あらたまった気持ちでその年の心構えや抱負、おめでたい言葉などを書く書き初めも、このならわしから来ているもののようです。一年の計は元旦にあり。書き初めはこのことわざを心に留めつつ取り組みたいものです。

開一小では書写の学習として、1・2年生は硬筆で、3～6年生は毛筆で書き初めをします。あらたまった気持ちで一字一字ていねいに書くことを指導していきます。作品は、「校内書きぞめ展」で各教室の廊下に掲示します。学校公開等、来校された折にぜひご覧ください。また、練馬区小中学校連合書き初め展も開催されます。あわせてご覧ください。

- ・校内書き初め展 1月13日(土)～26日(金)
 - ・連合書き初め展 1月27日(土)・28日(日)
- (練馬区美術館にて、詳しくは1月にプリントでお知らせします。)



「ふれあい給食」にむけて 1月31日(水)

3年 柳下 俊介

3年生の教室に近隣の農家の方をお招きし「ふれあい給食会」を行います。

3年生は、2学期に社会科の学習で農家の仕事について学んでいます。また、総合的な学習の時間には、大豆や練馬大根を育て、一人一人がテーマを決め調べ学習を行っています。

12月には、実際に練馬大根掘りやたくあん作りも体験し、農家の方から大根作りについてお話をうかがいました。

当日は、野菜を作っていただいていることへの感謝の気持ちを伝えるとともに、自分たちが作った練馬大根のたくあんと一緒に食べる予定です。



笑顔いっぱい！たてわりスペシャル集会

特別活動部 高橋 史樹

縦割り班活動のメインイベントである「たてわりスペシャル集会」が、1月25日(木)に行われます。それぞれの班で協力してお店を作り、当日は前半と後半に分かれ、お店を回って楽しめます。昨年11月から縦割り班で話し合ってお店を考え、班長が中心となり準備を進めているところです。たてわり班の6年生を中心に、ポスター・看板・ルール説明表・遊び道具……など必要なものをみんな分担し作っていきます。

今年度も、様々な趣向を凝らした19のお店で、子供達は笑顔あふれる楽しいひとときを過ごすことでしょう。そして、クラスや学年だけでは味わえない、異学年で創り上げる楽しさ、やり遂げる喜びなどを十分感じてほしいと願っています。



『2分の1成人式』に向けて

4年 渡邊 碧

20歳までの折り返し地点にいる4年生。2分の1成人式とはそんな4年生が、今まで生きてきた10年間を振り返り、たくさんの人に感謝するとともに、自分の将来や夢を共有する場です。将来なりたい職業や、なりたい自分を発表するのはもちろん、その夢を実現させるためには何をしていかなければならないかも、子どもたちに考えさせたいです。また、保護者の方々にとっても子どもの成長を喜び、自らの子育てを振り返る機会にさせていただければ、と考えています。20歳に向けて夢と希望をもち、歩んでいける機会になるよう、準備を進めていきます。たくさん温かい心で祝っていただけますようご協力お願いいたします。